

平成29年第11回稲城市教育委員会定例会

- 1 平成29年11月21日、午前9時から、市役所6階601・602会議室において、平成29年11回稲城市教育委員会定例会を開催する。

- 1 出席委員は、次のとおりである。

小野 好江
城所 正彦
今泉 浩史
澁谷 香織
小島 文弘

- 1 出席説明員は、次のとおりである。

教育部長	石田 昭男
教育指導担当部長	渡辺 恭秀
教育総務課長	大塚 広満
学務課長	佐藤 篤太郎
指導課長	岸 知聡
生涯学習課長	関口 美鈴
体育課長	安藝 宏延
学校給食課長	佐藤 知子
図書館課長	稲田 基樹

- 1 職務のため出席する職員は、次のとおりである。

教育総務課教育総務係長	斎藤 晃二
教育総務課教育総務係	加藤 綾子
教育総務課教育総務係	鈴木 奏子

- 1 会議に付された事項は、次のとおりである。

- (1) 日程第1 会議録署名委員の指名
- (2) 日程第2 会期の決定
- (3) 日程第3 教育行政報告
- (4) 日程第4 第28号議案
「平成29年度教育費補正予算（第2号）の提出について」
- (5) 日程第5 第29号議案
「平成30年度教育費予算要望書の提出について」
- (6) 日程第6 報告事項

委員 長 ただいまから、平成29年第11回稲城市教育委員会定例会を開催致します。
まず、傍聴の方にお願いがございます。

1、会議に対して可否を表明したり、騒いだり、その他会議の妨害をしないでください。2、会議開催中はみだりに席を離れないでください。3、決められた出入口から入退場をしてください。4、傍聴人は委員席に入ることができません。5、携帯電話・スマートフォンをお持ちの方は、電源をお切りください。これらの事項を守っていただきたいと思います。

それでは、日程第1 本日の「会議録署名委員」についてお諮りいたします。前例に従いまして、委員長指名といたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員 長 ご異議なしと認めます。よって、本日の会議録署名委員は、澁谷委員をお願い致します。

次に、日程第2 「会期の決定」についてお諮りいたします。本定例会の会期は、本日1日とすることにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員 長 ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日と決しました。教育長から教育行政報告の申し出がございます。日程第3 「教育行政報告」を教育長よりお願いいたします。

教育 長 教育行政報告につきましては、各課長より報告致します。

[教育行政報告]

教育総務課長 1 教育委員会後援名義について
2 平成29年11月東京都市教育長会庶務課長会定例会について

学務課長 1 平成29年10月分不登校による欠席児童・生徒数について
2 平成29年度市政功労者表彰式について
3 平成29年度第2回稲城市立学校給食共同調理場運営委員会につて

- | | |
|--------|---|
| 指導課 | <ul style="list-style-type: none"> 1 担当事業について 2 推進事業について 3 研修事業について 4 学校訪問事業について 5 その他について 6 教育センター関係について |
| 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 1 社会教育関係について 2 社会教育活動振興について 3 芸術文化活動の振興について 4 成人式関係について 5 文化財の保護と普及について 6 生涯学習推進事業について 7 学校施設コミュニティ開放事業について 8 放課後子ども教室参加状況について 9 寄附について 10 公民館主催事業の実施状況について 11 iプラザの主な主催事業の実施状況について 12 平成29年10月生涯学習課利用統計について |
| 体育課長 | <ul style="list-style-type: none"> 1 スポーツ推進委員協議会関係について 2 市立公園内体育施設管理運営について 3 社会体育施設管理運営について 4 学校開放事業について 5 体力づくり運動推進事業について 6 ヴェルディ支援推進事業について 7 その他について |
| 学校給食課長 | <ul style="list-style-type: none"> 1 試食会について 2 姉妹都市の取り組みについて 3 学校給食野菜に関する圃場見学会について 4 学校給食安全・衛生管理研修会について 5 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会について |
| 図書館課長 | <ul style="list-style-type: none"> 1 市主催事業について 2 中央図書館主催事業(SPC運営)について 3 分館の主催事業について 4 城山体験学習館の主な事業について |

- 5 地域との連携について
- 6 学校との連携について
- 7 視察について
- 8 図書館の利用状況(平成29年10月)について

委員長 ありがとうございます。以上で、教育行政報告が終わりました。

次に、日程第4 第28号議案「平成29年度教育費補正予算(第2号)の提出について」及び日程第5 第29号議案「平成30年度教育費予算要望書の提出について」を議題といたします。

第28号議案、第29号議案は予算案件であることから、秘密会といたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長 ご異議なしと認めます。よって、第28号議案及び第29号議案は秘密会といたします。本秘密会においては、関係者以外の退席を求めます。
暫時休憩いたします。

(暫時休憩) ※関係者以外の職員と傍聴者は退席する。

(これより第28号議案及び第29号議案は秘密会)

秘密会議録は別紙

(これにて第28号議案、第29号議案の秘密会は終了)

委員長 再開いたします。

これより、第28号議案「平成29年度教育費補正予算(第2号)の提出について」を採決いたします。

本案を原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

委員長 挙手全員であります。よって、第28号議案は原案のとおり可決いたしました。

次に、第29号議案「平成30年度教育費予算要望書の提出について」を採決いたします。

本案を原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

委員長 挙手全員であります。よって、第29号議案は原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第6 「報告事項」です。本日の報告事項は2件です。

「稲城市立学校給食共同調理場第一調理場建替移転工事实施設計に係る基本プランについて(2)」を学務課長、「平成28年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果概要について」を指導課長より説明をお願いいたします。

学務課長、お願いします。

学務課長 稲城市立学校給食共同調理場第一調理場建替移転工事实施設計に係る基本プランについて、(2)ということでご報告をさせていただきます。

8月18日に開催されました、稲城市立教育委員会定例会におきまして報告をさせていただいた基本プラン、その後の検討によりまして変更箇所が幾つかございますので、現在の進捗状況ということで、その変更箇所を中心にご報告をさせていただきます。

まず、1階の部分でございます。図面のほうの2ページとなっております1階の平面図をごらんください。

こちらの図面の建物の北西、左上ということになります。ここに非常用の階段を設けることといたしました。避難経路として、ここが必要だというようなそういったような判断でございます。これに伴いまして、こちらに業者用のトイレを予定していたんですけれども、それを反対側北東側に右上のほうに移動をしております。

もう1点、アレルギー対応食の配送の関係で、第二調理場のほうが受け持っている学校分のアレルギーの給食につきまして、大きなトラックが必要ないということで、軽トラックで積み出せるようなことということで、左上の水色のところ、ここに荷物昇降機でおろした後、そのまま軽トラックに積んで各校へ配送ということができるようで形状を変更しております。

また、職員のエリアですが、こちら緑色に着色された部分ですけれども。前のときには職員の玄関と見学者等の玄関で分けていたんですけれども、敷地の関係がありまして職員と来校者を同じ出入り口としております。それに伴いまして事務室の配置が変更になったことと、わずかではありますけれどもスペースを利用して倉庫を設けております。

続きまして、次のページの2階の平面図をごらんください。こちらは1階と同じように北西側に非常用の階段を設けております。また、アレルギー対応食の配送のために、若干のアレルギー対応食のエリアの形状が変わっております。

また、職員エリア、右側の緑色のところになります。玄関の上部を吹き抜けとしております。これはエントランスにアクセントを持たせて、見学に来た方にちょっとした心地よい空間というものを提供できればなということで、この後、こういった展開になるか、また検討していくこととなりますけども、2階の部分は吹き抜けで解放感のあるような形に形状は変更しております。

また、洗濯室とあります、3階に予定していたものを2階に移動してきております。これらに伴いまして、男女の更衣室、男女のトイレの配置を変更したのと、2階の部分では倉庫がなくなってしまったというようなことがございます。

続きまして、次のページですが3階の平面図となります。こちらで職員のエリア、こちら先ほど申し上げました洗濯室、2階に移動をさせていただいております。そのあとに男子休憩室をこちらに配置をしたというようなことになっております。また、男女ともに休憩室と更衣室、こちらを区分したような形としております。

また、一般エリア、この紫色のところです。会議室兼食堂を広くして、この中に体験コーナー、実習コーナーを組み入れたというような、そういった形状に変更しております。

最後にもう1枚めくっていただきまして、5ページになります。見学用のスペースがもう少しあって、実際に作業を見ることができないかというようなことで検討した経緯を示したものなんですけども。ここで小さく吹き抜けを、体験コーナーの中に会議室兼食堂の中にあります、これの下がちょうど下処理室ということで、下処理をしたものが調理のほうに流れて調理をすると、そういった流れで作業を見られるといいのではないかというようなことで検討をしたんですけども、調理の下処理というのは子供さんたちが見学に来るころには全て終わって、見えても全部きれいになってしまっているというようなことがありました。それともう1点は、吹き抜けを多くして空間がたくさんになりますと、空調とか換気とかのそういった負荷が重くなってしまうというようなことがありましたので、こちらについては断念をしまして、先ほどのような形状ということで今のところ計画をしているところでございます。

私からは以上でございます。

委員長 ありがとうございました。
 次に指導課長、お願いいたします。

指導課長 それでは、先ほどお話をいただきました、先に調査名の訂正をお願いいたします。本調査ですが、平成28年度から調査名が変更となっております。申し上げます。児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査となっております。申しわけございませんが訂正をお願いいたします。

それでは、本調査の結果の概要につきまして、ご報告させていただきます。本調査は、児童生徒の問題行動等について、全国の状況を調査分析することにより、教育現場における生徒指導上の取り組みをより一層充実していくとともに、本調査を通じて実態把握を行うことにより児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていくことを目的として文部科学省が実施している調査でございます。

調査項目の小中学校を対象としております暴力行為、いじめ、長期欠席の3点につきまして、ご報告をさせていただきます。

初めに、資料1ページの暴力行為の状況の調査結果につきましてご説明申し上げます。

暴力行為につきましては、対教師暴力、生徒間暴力、対人暴力、器物損壊の四形態に分けられます。

(1)平成28年度の暴力行為の合計発生件数につきましては、小学校で9件、中学校で14件でございます。市内の発生件数につきましては、平成27年度に比べて増加しております。稲城市と全国の児童生徒1,000人当たりの発生件数を比較いたしますと、小学校、中学校いずれにつきましても稲城市の暴力行為の合計発生件数は全国の発生件数よりも少ないという結果でございました。

暴力行為の各形態の結果につきまして、ご説明申し上げます。

(2)対教師暴力につきましては、小学校は6件、中学校は2件でございます。対教師暴力につきましては、小中学校ともに発生件数が平成27年度よりも増加し、稲城市と全国の生徒1,000人当たりの発生件数を比較いたしますと、稲城市の小学校の発生件数が全国の発生件数よりも高いという結果であり、課題が見られました。

続いて(3)生徒間暴力につきましては、小学校は3件、中学校は9件でございます。生徒間暴力につきましては、稲城市と全国の児童生徒1,000人当たりの発生件数を比較いたしますと、稲城市の発生件数は全国の発生件数よりも少ないという結果でございました。

続きまして2ページをごらんください。

(4)対人暴力につきましては、小学校で0件、中学校は1件でございます。

次の(5)器物損壊につきましては、小学校は0件、中学校は2件で平成27年度と比較いたしますと減少傾向が見られます。

暴力行為の発生件数につきましては、本市だけではなく全国的に小学校の発生件数が増加傾向にあるということが調査から見てとれます。

今後の対策といたしましては、道徳教育や特別活動を通して命の大切さや人権尊重の精神、道徳性の育成や規範意識の醸成を図ることが大切だと捉えております。未然防止の日常的な取り組みと組織的な対応の一層充実を図るよう、引き続き学校を指導してまいります。

続きまして、3ページをごらんください。いじめの状況の調査結果につき

ましてご説明を申し上げます。

平成28年度のいじめの認知件数につきましては小学校は31件、中学校は21件でございます。平成27年度と比較して、小中学校ともに認知件数は増加しております。これにつきましては、学校現場においていじめの認知を否定的に捉えるのではなく、しっかりと認知して報告・対応をしていくという考え方が広まったことにより、全国的に小中学校ともに認知件数が増加傾向にあるということが背景にございます。

稲城市と全国の児童生徒1,000人当たりのいじめの認知件数を比較いたしますと、稲城市の認知件数は全国の認知件数よりも少ないという結果でございました。

いじめの現在の状況につきましては、52件中解消しているものが47件、調査段階で解消に向けて取り組み中のが5件でございますが、この5件につきましては学校の対応により一定の解消が図られているものなど、現在はいじめの状況は見られないとの報告を受けております。

いじめの態様につきましては、稲城市では小中学校ともに、冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるが最も多いという結果でございました。これにつきましては、全国の小中学校の結果も同じように、冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるが最も多いという結果でございます。

また、中学校におきましては、パソコンや携帯電話等で誹謗中傷、嫌なことをされるというのが多いという傾向も見られます。

いじめ問題につきましては、いじめは絶対に許されない行為であり、またいじめはどの学校でもどの子供にも起こり得るという認識のもと、学校いじめ防止基本方針に基づきまして、日常的な未然防止の取り組みと組織的な早期発見、早期対応するよう。また、いじめと疑われる事案については、しっかり認知するという教員の意識の啓発につきまして、引き続き学校を指導してまいります。

続きまして4ページをごらんください。長期欠席の状況の調査結果につきまして、ご説明申し上げます。

長期欠席につきましては、平成28年度間に連続または断続して30日以上欠席した児童生徒数につきまして調査したものでございます。

平成28年度の長期欠席児童生徒数につきましては小学校は40人、中学校は61人であり、そのうち病気等を除いた不登校児童生徒数につきましては小学校は23人、中学校は50人でございます。平成27年度と比較して、小中学校ともに不登校児童生徒数が増加しているという結果でございます。稲城市と全国の在籍児童生徒数における長期欠席者の割合を比較いたしますと、小学校、中学校いずれにつきましても稲城市は全国よりも在籍児童生徒数における長期欠席者の割合が低いという結果でございます。しかしながら、不登校児童

生徒数が前年度から増加しているという傾向がございますことから、児童生徒に不登校の傾向が見えたときは初期段階から組織的にきめ細かな支援を行い、長期化を防ぐよう引き続き学校を指導してまいります。

また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談室職員の活用により、児童生徒及び保護者からの相談に対応するとともに、適応指導教室における学習支援や相談対応、学校復帰や進路選択に向けた支援の一層の充実を図ってまいります。

以上、平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果概要につきましての報告とさせていただきます。

- 委員 長 ありがとうございます。
 報告事項の説明が終わりましたので、これより質疑をお願いいたします。
 はい、どうぞ今泉委員。
- 今泉 委員 新調理場についての質問なんですけれども。単純によくわからなかったんで教えてください。3階の平面図の屋上についているハト小屋というのとキュービクルというのは何なんですか。
- 学務 課 長 ハト小屋は配管を守る、カバーするもので、ハト小屋に似ているというようなことでこういったような呼び方をしているということで。キュービクルは電気の関係の施設といったものでございます。
- 今泉 委員 ハトを飼うわけじゃない。
- 学務 課 長 ハト小屋に似ているというようなことで、こういったような呼び方をすることだそうです。
- 今泉 委員 一応、確認してよかったです。ありがとうございます。
- 委員 長 ほかにはいかがでしょうか。
 どうぞ、今泉委員。
- 今泉 委員 長期欠席者のところの不登校についてお伺いしたいんですけれども。平成28年度の経済的にはゼロだからいいんですけど、病気のところで、あと不登校のところはかなりたくさん人数が入ってしまっているなど思うんですが。
 この中のうち90日以上欠席している者の中に、いつもご報告いただいているお子さんもここに入っているという認識でよろしいのでしょうか。

委員 長 指導課長。

指導課長 この中に含まれています。

今泉委員 含まれているんですね。ありがとうございます。

委員 長 どうぞ、お願いします。

城所委員 この調査のほうのいじめの状況の部分で、認知件数がふえているというのは理解ができますし、いじめの対応の部分についても大体予想されるようなことだなと思うんですが。このところ報道されている自殺にまで発展するような、やっぱり件数云々、内容云々とは別に中身というか深みというか、その辺も結構大事な部分ではないかというふうに教育委員会としては思うんですけれど。こういった調査を取りまとめていく中で、その辺の指導課の感触は各校のいじめに対する質の感触というのはどんなものでしょうかね。すみません、ちょっと漠然とした質問で申しわけない。

委員 長 指導課長。

指導課長 やはり、いじめを原因とした自殺ということにつきましては、各学校から挙がってくる調査の内容を見ますと、いじめが即自殺という案件につながるというようなものに内容につきましては、報告は受けてはおりません。自殺に関しては、どちらかという心身の部分で本人が非常に辛い思いをしているとか、そういうことが考えられると思うんですけれども。どちらかというといじめ以外の例えば要因の中で本人がいろいろな悩みを持ったりとかして医療機関に通っているというようなケースがございますが、いじめから自殺へというような心配があるという事案については、現在のところ報告は受けてはございません。

城所委員 特に、本当にどういった予想外の展開が最近はあるんでね。それはぜひとも指導課も含めてというか、教育委員会全体で考えていかなきゃいけないのかなというふうに思ったニュースでありました。よろしくお願いします。

委員 長 いかがでしょうか、ほかに。
どうぞ。

今泉委員 ちょっとすみません、またこちらの調査結果概要のほうなんですけれども。

ちょっと聞き辛い質問になるかもしれないんですけども。暴力行為、また対教師暴力、また生徒間暴力ということで各数字、件数が入っていると思うんですが。これは、この調査アンケートをとって初めて耳に入ってきたというものはあたりしますか。それとも基本的には指導課のほうにしっかりと挙がってきているんだろうなという認識なのか、そのあたりちょっと教えていただけますか。

指導課長 基本的には調査で挙がってきたものについては、発生した段階で指導課のほうに報告をいただいております。

今泉委員 もし、漏れちゃっているような部分があると、アンケートをとるまでに気づかないなというものになると、また問題が大きくなっちゃうと思うので、できる範囲でタイムリーに報告が挙がってくるような感じで、また学校とも連絡調整していただければと思います。ありがとうございます。

委員長 ほかにはいかがですか。

それでは、質疑がないようですので、以上で質疑を終結いたします。

以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。これにて閉会といたします。ありがとうございます。

(午後 3 時 05 分閉会)